

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岩手県平泉町
本事業の担当部局名 まちづくり推進課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進							
個別事業名	4市町合同婚活事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成27年度	
総事業費(A)(円)	42,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	42,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	42,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	42,000	0	42,000		
	対象経費支出予定額	0	0	42,000	0	42,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本町における婚姻率は、年々減少しており、県平均に比べても低い状況にある。 4市町合同婚活事業連携市町村が行った独身者対象のアンケートでは、結婚活動支援の中で、婚活イベントの開催を求める意見が多いことから、近隣自治体と連携した広域的な事業展開を図る必要がある。また、婚活に対する個人意識が多様であり、結婚に対し積極的になるような出会いの場の提供が求められているため、過年度に引き続き出会いの場の創出を行っていく。</p> <p><本個別事業の位置付け> 出会いの場を創出するため、宮城県栗原市・宮城県登米市・岩手県一関市と連携して婚活イベントを実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	事前セミナーの開催	結婚を希望する独身男女を対象に、スキルアップセミナーを行う。(1回) ・参加予定者数(定員):50人(男女各25人) ・内容:男性には、身だしなみの整え方やトークスキルを身に付けられる機会を、女性には自分にあったメイクアップやパーソナルカラーを理解し、自分磨きについて学べる機会を提供する。					
	2	婚活イベントの開催	婚活イベントを年1回開催する。 ・参加予定者数(定員):50人(男女各25人) ・開催時期:12月頃 ・対象者:おおむね25～45歳の独身者 ・会場:一関市内 ・内容:イベント開催に際して、スタッフがマッチングフォローから、アフターフォローまで切れ目なく支援を行うとともに、県の結婚支援センターへの登録促進を図る。					
3								
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 各自治体職員による担当者会議の場を定期的に設け、婚活事情やイベントについての情報交換を行っている。 また、会議だけではなく、必要に応じ、各自治体が実施しているイベントの視察見学も実施している。 当該事業のほか、各自治体が実施しているイベント等の情報発信も行っている。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚活イベント実施数		回	1(R8年度)	1(R7年度)
	結婚祝金給付件数		件	20(R8年度)	1(R7年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5)	
	婚姻件数		件	12	
	婚姻率			1.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活セミナー参加者数	人	50	47
	②	婚活イベント参加者数	人	50	47
	③	カップル成立数	人	10	6
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	63.8(R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	66(R7年度)
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	59.6(R7年度)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					